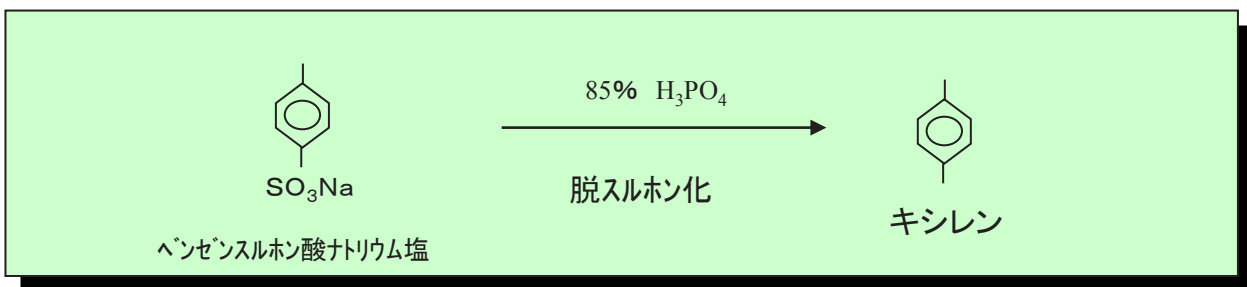
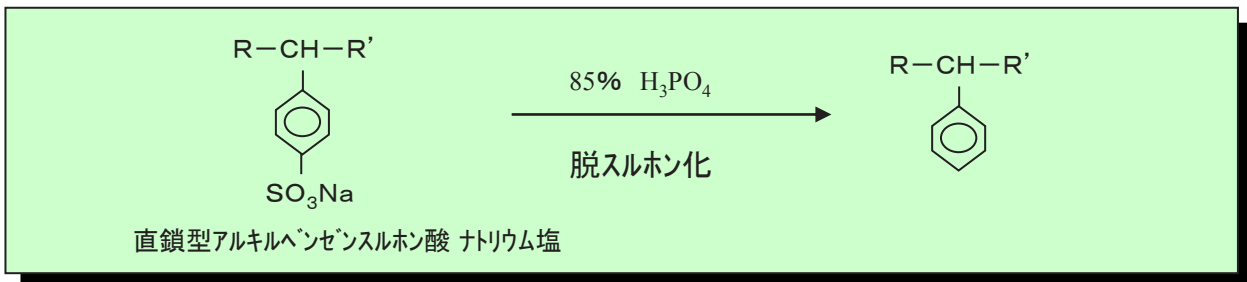


りん酸分解法を用いた界面活性剤の分析

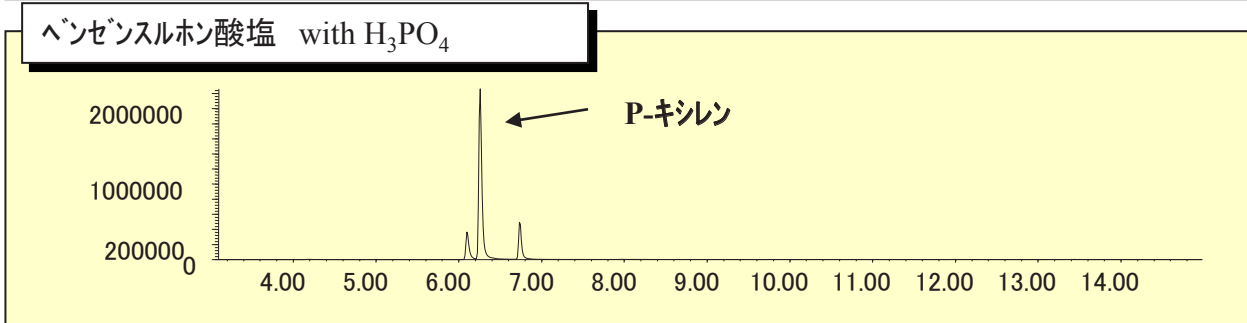
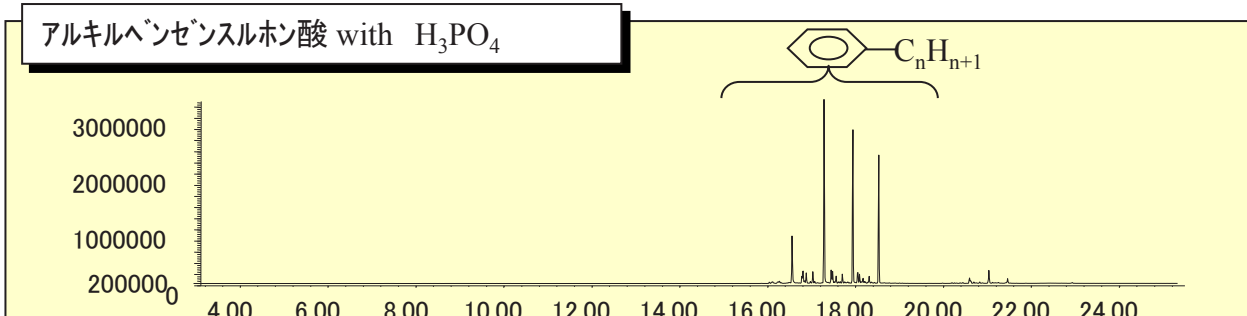
1. 概要

- ・界面活性剤とは分子中に親水基と親油基とを併せ持った構造を有し、水、油類に分散し、表面張力を低下させる化合物である。洗剤や衣類の柔軟剤、シャンプー、リンス等様々な用途がある。
- ・界面活性剤の分析には、簡便且つ迅速な手法であるFT-IRが最も有用であるが、混合物の場合スペクトル解析が困難である。また分離機能を持つGC/MS分析を行なうにも、難揮発性である界面活性剤は直接分析ができない。そこでりん酸分解法を用い、界面活性剤の揮発性を高めた反応熱分解 GC/MS分析を適応した。

2. 反応スキーム



3. 分析結果



りん酸分解法を用いることにより、陰イオン界面活性剤の一種である、アルキルベンゼンスルホン酸塩、ベンゼンスルホン酸塩の分析が可能である。